

横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘  
指定管理者選定結果報告書

平成22年6月

横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会

## 1 趣旨

横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘(第2期)指定管理者選定にあたり、横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会は、応募団体から提出された提案書類の審査や公開ヒアリングを行ってまいりました。

このたび審査が終了し、指定候補者(優先交渉権者)を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

## 2 横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会(50音順)

	氏名	備考
委員長	石渡 和実	東洋英和女学院大学教授
委員長代行	飯山 文子	社会福祉法人白根学園光の丘・風の丘・麦の丘施設長
委員	石井 紀男	NPO法人横浜市精神障害者家族連合会理事長
委員	服部 一弘	NPO法人アニミ理事長
委員	山口 昇	税理士

## 3 選定経過

経過	年月日
第1回横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会開催(委員長の選任、募集要項・選定基準等の検討)	平成 22 年2月 21 日(日)
公募の周知	平成 22 年3月 15 日(月)～
公募要項等の配布	平成 22 年3月 23 日(火)～
公募説明会	平成 22 年3月 29 日(月)
公募要項等に対する質問の受付期間	平成 22 年3月 30 日(火)～4月1日(木)
公募要項等に対する質問の回答	平成 22 年4月 12 日(月)～
提案書類の受付期間(郵送のみ:消印有効)	平成 22 年4月1日(木)～4月 22 日(木)
第2回選定委員会(提案書類の審査、プレゼンテーション及びヒアリング、指定候補者選定)	平成 22 年5月 23 日(日)

## 4 応募状況

応募数	応募団体名
1社	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

## 5 選定方法

- (1) 各委員ごとに、採点(総合得点)を行い、得点の高い順に応募団体の順位をつけます。
- (2) (1)の結果に基づき、各委員の採点結果ごとに1位の団体に1点、2位の団体に2点、以下同様に得点をつけます(順位点)
- (3) (2)の得点を委員全員について集計し、最も得点の低かった団体を選定します。ただし、各大項目について、係数をかける前に委員の評価の平均が「2」以下が一つでもある場合、または委員の評価合計の平均が最低制限基準点である「144点」以下の場合は、選定の対象から除きます。ただし、この評価を行った上、選定対象となる法人がいなくなる場合は、選定委員会で条件をつけた上で選定することができるものとします。
- (4) 順位点が同点の団体が複数あった場合は、同点の団体について委員全員の総合得点を集計し、その得点が最も高い団体を選定します。

## 6 審査結果

横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定委員会において厳正な審査を行った結果、指定候補者(優先交渉権者)を次のように選定しました。

- (1) 指定候補者(優先交渉権者)  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
- (2) 審査得点(出席委員数 5名)

- ① 総合得点  
(評価項目ごとの採点の合計点)

評価項目	配点	全委員(5名)の採点合計
1 応募者の管理実績	50点	46点
2 応募者の業務実績	50点	44点
3 基本的な考え方	75点	64点
4 施設管理計画	100点	86点
5 経営の安定性・事業収支計画	250点	225点
6 障害者向け研修等事業の企画実施	200点	162点
7 事業実施体制	375点	299点
8 その他運営計画	100点	74点
総合得点	1200点	1000点

- ② 順位点  
(最高得点は5点になります。)

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	5点
-------------------	----

## (3)評価結果一覧表

横浜市障害者研修保養センター横浜あゆみ荘指定管理者選定評価／評価基準書【最終版】								
評価項目	小項目	最高得点	内訳	係数	委員評価 (小項目)	平均	委員評価 (大項目)	
								内訳
1 応募者の管理実績	応募者の管理実績	50	50	×2	23	4.6	46点	46
2 応募者の業務実績	応募者の障害者支援に関する業務実績	50	25	×1	21	4.4	44点	21
			25	×1	23			23
3 基本的な考え方	(1)障害者の福祉の向上に関する基本的な考え方や理念	75	50	×2	22	4.2	64点	44
	(2)運営の理念		25	×1	20			20
4 施設管理計画	(1)維持管理業務に関する基本方針	100	25	×1	21	4.3	86点	21
			25	×1	20			20
	(2)建物等の保守管理計画		25	×1	22			22
	(3)清掃計画・外構植栽管理計画		25	×1	23			23
5 経営の安定性・事業収支計画	(1)法人の経営状況	250	100	×4	25	4.3	225点	100
	(2)基本的考え方		50	×2	20			40
			75	×3	22			66
	(3)向う5か年収支計画		25	×1	19			19
6 障害者向け研修等事業の企画実施	事業計画	200	50	×2	20	4.1	162点	40
			50	×2	17			34
			50	×2	21			42
			50	×2	23			46
7 事業実施体制	(1)施設の提供	375	50	×2	23	4.0	299点	46
	(2)人材育成・研修計画		25	×1	20			20
	(3)運営委員会の設置運営		25	×1	20			20
	(4)実施体制・緊急時の対応		50	×2	19			38
			25	×1	18			18
	(5)障害者等からの相談等への対応		75	×3	19			57
	(6)業務水準の維持・向上等方策		50	×2	21			42
25		×1	20	20				
(7)その他の方策	50	×2	19	38				
8 その他運営計画	(1)広報・利用促進計画	100	50	×2	18	3.7	74点	36
	(2)障害者利用を促進するための計画		50	×2	19			38
		1200満点					1000点(200点/名)	

(4) 審査総評

団体名	評価項目及び指摘事項
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	<p>横浜あゆみ荘の宿泊施設の指定管理者として円滑な運営にあたってきた実績及び、経営状況の安定性を高く、評価した。</p> <p>また、施設管理の一部を障害者団体に委託したり、施設の目的である研修事業についても障害者が参加しやすい料金を設定するなど障害者の社会参加及び障害者雇用について評価できる。</p> <p>しかしながら、全体的に身体障害者へのサービス・支援は、非常に行き届いているが、それと比較すると知的障害者及び精神障害者への対応がやや弱い印象を否めない。身体のみならず、知的、精神及びその他の障害への対応のより一層の充実をお願いしたい。</p> <p>また、研修事業については、関係者のニーズを適切に把握していくとともに、障害のない人も参加できるような企画が望まれる。</p> <p>民間の宿泊施設のバリアフリー化が広まる中、非日常性の演出など宿泊施設としての魅力度を向上させる取組を進めることが、障害者研修保養施設としてニーズに応えられる質の高いサービスを提供し、さらに施設の付加価値を高めていくことを期待したい。</p>